

## 第10回 あげお未来創造市民会議 会議録

1. 日 時 令和2年2月7日（金） 9時30分～12時00分

2. 場 所 青少年センター会議室

3. 出席者 委員：飯塚 純 ・大木晴夫 ・大澤サユリ・大塚常司 ・小川和男  
小川早枝子・桐原陽子 ・小島 勝 ・小牟田健治・鈴木靖代  
高橋雅之 ・竹村絵里 ・中澤正俊 ・能登 貢 ・萩原和也  
増田澄雄 ・的場保子 ・矢島通夫 ・山尾三枝子・山口 直  
(欠席委員 市倉育江 ・伊原広茂 ・岡部千里 ・河原塚透 ・関本正弘  
刀根正克 ・本城文夫 ・宮田敬生 ・横堀鶴雄)

事務局：行政経営課野崎課長・本郷副主幹・東海林主任・三浦主任

加サキチム：永澤副主幹・松本主査 ・鈴木(彰)主任 ・鈴木(陽)主任

吉岡主任 ・野澤主任 ・林主任 ・田中主任 ・細井主任

石川主任 ・野間主任

コンサルタント：株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング

### 4. 次 第

〈第10回あげお未来創造市民会議〉

- 1 開会
- 2 グループ討議  
・施策に対する意見検討⑤（協議分野2の必要な取組）
- 3 その他
- 4 閉会

### 5. 配付資料 次第

あげお未来創造市民会議～第10回資料～

分野ごとの理想の取組検討シート

### 6. 議事概要

〈第10回あげお未来創造市民会議〉

#### 1 開会

委員長：皆さま、おはようございます。本日は、お忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。これより、第10回あげお未来創造市民会議を始めさせていただきます。はじめに事務局から事務連絡をお願いします。

《事務局から配付資料の確認》

## 2 グループ討議

《コンサルタントが「あげお未来創造市民会議～第10回資料～」に基づき、前回の議論のあらましや本日の協議テーマ、協議の方法などについて説明》

《5グループに分かれ、各グループの協議テーマにおける「分野ごとの必要な取組」について議論し、発表した》

委員：Jグループでは「農業」「商業」「工業」「観光」「勤労者・就労支援」についてについて議論しました。

まず「農業」については、安定した収入の確保や後継者不足の解消のため、農業法人の設立が求められるとのアイデアが出たほか、道の駅の整備についても意見がありました。

「商業」については、上尾の独自性ある商店街として「ミニ竹下通り」をつくり、差別化につなげてはどうかとの意見がありました。

「工業」については、従来の製造業中心の工業団地ではなく、例えば情報化社会に対応した企業が集まる場所など特色ある団地をつくってはどうかとのアイデアが出ました。

「観光」については、七福神やその周辺に買い物ができる場所を整備するなどして、新たな地域資源を生み出すことが重要とされました。

「勤労者・就労支援」については、企業の健康経営を促進するため、行政が支援していくことが重要との意見が出ました。

司会：他のグループの方でJグループへのご意見・ご質問などある方はいらっしゃいますか。

《意見なし》

司会：続きまして、Iグループの発表をよろしくお願いします。

委員：Iグループでは「教育環境」「教育活動」について議論しました。まず、地域との連携については、「放課後子供教室」も含め、地域の人材を活用しながら全市的に進めていくべきであるとの意見が出ました。補習や学習支援など、子どもたちが無料で学べる場がもっと増えればと考えます。教員の働く環境については、理想の状態を検討した結果、事務作業を支援する職員を増やすことで、「教員本来の仕事」に集中できる環境づくりに取り組む必要があるのではないかと意見が出ました。このほか、ICTやAIの活用も教員の負担軽減につながるのではないのでしょうか。近隣の伊奈町などと連携しつつ、優秀な人材の確保につなげていくことも重要です。また、いつでも誰でも受けやすい研修の実現や、キャリア教育、英語教育の充実、基礎学力の向上なども重要です。さらに、給食費の無料化

や家庭教育の支援、外国籍の子どもの支援、教員の年齢構成の平準化も必要ではないでしょうか。

司 会：他のグループの方で I グループへのご意見・ご質問などある方はいらっしゃいますか。

《意見なし》

司 会：続きまして、H グループの発表をよろしく申し上げます。

委 員：H グループでは「文化・芸術、文化財」「生涯学習」「スポーツ・レクリエーション」について議論しました。

まず、「上尾学」の確立についてですが、地理的な観点から見て、上尾が位置するところの緯度・経度は唯一のものであり、上尾にしか存在しない自然環境が存在すると考えられます。樹木や動物などを含めた環境の上で、上尾の文化は育まれてきたのであり、上尾らしさは土地の独自性の中で生まれてきたのだと考えられます。ぜひ、市内の小学校などで「上尾学」を教えるはどうでしょうか。あるいは、PR コーナーを設置して、上尾の基礎的な情報が学べる場があってもよいと思います。「郷土博物館」のようなものを整備できれば理想的ですが、金銭的に厳しい面もあるかと思しますので、文化芸術祭を核に文化活動を盛り上げていく必要があるのではないのでしょうか。また、上尾における稲作の歴史を展示するコーナーがあってもよいと思います。

「生涯学習」については、公共施設、各地区の公民館の活用に関する意見が出ました。「文化・スポーツ」全体にわたって、上尾の地域資源を発掘していく取組が必要だと思います。このほか、かつて市内にあった映画館のような施設があるとよいとの意見も出ました。また、市内にいくつかある公園やスポーツ施設をグリーンロードでつなぐ試みも、上尾全体を面的に公園のような場所にしていく上で効果的だと思います。「文化薫る健康都市上尾」の実現に向けて、一人ひとりが協力していくことが重要です。

司 会：他のグループの方で H グループへのご意見・ご質問などある方はいらっしゃいますか。

《意見なし》

司 会：続きまして、G グループの発表をよろしく申し上げます。

委 員：G グループでは「子育て」「青少年」について議論しました。前回の会議で、「子育てと仕事の両立」が理想の状態とされましたが、実現のためには、施設

の数を増やすだけではなく、中身も充実させていくことが重要とされました。そのためには、行政が保育士など人材育成を支援していくことが大切ではないでしょうか。また、「孤立しない」という理想の状態の実現のためには、情報発信のデザインが重要だとの意見が出ました。情報のある場所に出向かなくても情報にアクセスできる「プッシュ型」の情報発信が重要であり、情報の中身については、やるべきことを押し付けるものではなく、複数の選択肢を示すものであるべきだと思います。孤立を防ぐ活動を行う団体に対して行政が働き掛けることも大切ではないでしょうか。さらに、子育てをする上での経済的な支援や基礎学力の充実などについても行政の取組が求められると思います。いずれにしても、子育てをしながら働く際、企業側が多様な働き方を受け入れることが重要であり、先進事例などについて行政が紹介することも考えられます。「青少年」については、登校できないこと自体を悪く捉えるのではなく、多様な育ち方があるということについて、行政が情報発信していく必要があるのではないかと意見が出ました。また、地域のつながりについては、子どもが安心して集まれる場があればよいとのアイデアも出ました。

司 会：他のグループの方で G グループへのご意見・ご質問などある方はいらっしゃいますか。

《意見なし》

司 会：続きまして、F グループの発表をよろしくお願いします。

委 員：F グループでは「上水道・下水道、河川」「土地利用、住環境」「交通、道路」「環境保全、廃棄物・リサイクル、生活環境、みどり」について議論しました。全体を通じて、SDGs を意識した取組を進めることや、市民参加の制度づくりを進めること、若年層の参加を促すこと、指導者の育成などが重要とされました。「上水道・下水道」については、きれいな水を継続的に供給することが求められるので、持続可能な水道経営が大切です。「河川」については、国や県に整備を働き掛けていくことが重要との意見がありました。「土地利用」については、有効利用されることが重要で、必要に応じた用途地域の変更も必要です。「住環境」については、二世帯、三世帯住宅の建築を促進して、土地の有効活用を図ることが重要との指摘がありました。「交通」については、上尾は自転車のまちとされていることにも鑑み、駐輪場の整備が重要ではないでしょうか。「道路」は、国道・県道の整備促進を図ることが求められます。「環境保全」については、リサイクルセンターの各地域への設置に関する意見が出ました。「みどり」については、公園などのオープンスペースの確保が重要とされました。

司 会：他のグループの方で F グループへのご意見・ご質問などある方はいらっしゃいますか。

《意見なし》

委員長：本日も大変お疲れ様でした。続いて、次第の3「その他」について、事務局から説明をお願いします。

### 3. その他

《事務局から、第 11 回会議は 3 月 14 日（土）の開催を予定している旨、連絡があった。》

### 4. 閉会

委員長：そのほか、委員の皆さまからご意見はございますか。なければ、以上をもって第 10 回あげお未来創造市民会議を終了します。ご協力ありがとうございました。

以上